

第77回『巣立ちのネットワーク』事務局会議

平成22年 9月22日(水) 14:00~16:30
京都市総合教育センター 2階 第4研修室
(司会)京都市立呉竹総合支援学校 進路指導主事 中西 太郎

1. 挨拶

(京都市教育委員会)

2. 事務局構成員出席者確認

3. 報告

- (1) 平成22年度障害者ワークフェアについて (京都府高齢・障害者雇用支援協会)
- (2) 第76回事務局会議以降の報告(平成21年度白河総合支援学校卒業生進路状況) (石上)

4. 情報交換

- (1) 第8回アビリンピック京都大会開催について (京都府高齢・障害者雇用支援協会)
- (2) 最近の雇用失業の状況と京都障害者職業相談室における業務取扱状況等について
- (3) 平成22年度障害者就職面接会について (京都障害者職業相談室)
- (4) 白河総合支援学校PTA職場開拓の取組状況について (石上)
- (5) 平成22年度市民啓発の取り組みについて (山本)
- (6) その他

5. 議事

- (1) 第17回「障害のある市民の雇用フォーラム」実施要項 (石上)

6. 閉会の挨拶

(事務局長)

7. 諸連絡

- <配布資料>
- ・第8回アビリンピック京都大会実施要項
 - ・最近の雇用失業の状況と京都障害者職業相談室における業務取扱状況について
 - ・障害者就職面接会について
 - ・企業向け人権問題情報誌ベーシック
 - ・雇用フォーラムちらし

第 7 7 回事務局会議出席予定者名簿

氏 名	職 名 等	備考
鈴鹿 且久	株式会社 聖護院八ツ橋総本店取締役社長	
森本 憲一	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談支援部長	
伊藤 裕	社団法人 京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談サービス課長	
岩井 光男	京都手をつなぐ育成会理事	
谷口 信行	ハローワーク京都七条 京都障害者職業相談室長	
田中 正人	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 京都障害者職業センター所長	
阪田 理恵	社会福祉法人 京都総合福祉協会 京都障害者就業・生活支援センター所長	
吉原 百合子	京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課 担当係長（企業啓発）	
村岡 孝	京都市産業観光局 商工部 産業政策課 課長補佐	
居内 学	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長	
中村 泰之	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 課長補佐	
山口 明裕	京都市保健福祉局 保健福祉部 障害保健福祉課 担当係長	
梁川 恵	京都市児童福祉センター発達相談所 発達相談課 相談判定係長	
蘆田 薫	京都市立総合支援学校 PTA 連絡協議会 『巣立ちのネットWORK』担当	
春原 克彦	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 副校長	
木下 幹雄	国立大学法人 京都教育大学附属特別支援学校 進路指導部長	
奥田 信一	京都市立北総合支援学校校長	
小谷 加代子	京都市立北総合支援学校 進路指導主事	
森脇 勤	京都市立白河総合支援学校校長	
石上 智賀子	京都市立白河総合支援学校 進路指導主事	
堀田 明彦	京都市立東総合支援学校校長	
福田 好孝	京都市立東総合支援学校 進路指導主事	
北村 裕二	京都市立鳴滝総合支援学校校長	
辻 佳英	京都市立鳴滝総合支援学校 副教頭	
山本 陽子	京都市立鳴滝総合支援学校 進路指導主事	
小林 一義	京都市立西総合支援学校校長	
白方 秀和	京都市立西総合支援学校 進路指導主事	
永井 実	京都市立呉竹総合支援学校校長	
中西 太郎	京都市立呉竹総合支援学校 進路指導主事	
山本 英生	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 課長	
朝比奈覚順	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 担当課長	
下山 純一	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 担当課長補佐	
中嶋 裕	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 総合育成支援係長	
中村 一郎	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 指導主事	
伊丹 由紀	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 指導主事	
遠山 敏広	京都市教育委員会指導部総合育成支援課 係員	

事務局構成員

団体名（関係機関）	氏名	団体名（学校）	氏名	
京都府高齢・障害者雇用支援協会	伊藤 裕	京都教育大学附属特別支援学校	春原 克彦	木下 幹雄
	森本 憲一	京都市立呉竹総合支援学校	永井 実	中西 太郎
京都手をつなぐ育成会	岩井 光男	京都市立鳴滝総合支援学校	北村 裕二	山本 陽子
京都障害者職業相談室	谷口 信行	京都市立東総合支援学校	堀田 明彦	福田 好孝
京都障害者職業センター	田中 正人	京都市立白河総合支援学校	森脇 勤	石上智賀子
京都市保健福祉局保健福祉部障害保健福祉課	居内 学	京都市立西総合支援学校	小林 一義	白方 秀和
	中村 泰之	京都市立北総合支援学校	奥田 信一	小谷加代子
	山口 明裕	京都市教育委員会指導部総合育成支援課	山本 英生	朝比奈覚順
京都市児童福祉センター発達相談所	梁川 惠		下山 純一	中村 一郎
京都市立総合支援学校PTA連絡協議会	蘆田 薫		中嶋 裕	伊丹 由紀
京都市文化市民局 市民生活部 人権文化推進課	吉原百合子		遠山 敏広	
京都市産業観光局 商工部 産業政策課	村岡 孝			
京都障害者就業・生活支援センター	阪田 理恵			

事務局長

所 属	氏 名
京都市立白河総合支援学校 校長	森脇 勤

代表

所 属	氏 名
株式会社 聖護院八ツ橋総本店 取締役社長	鈴鹿 且久

[報 告]

(1) 平成22年度障害者ワークフェアについて

(2) 第76回事務局会議以降の報告

(平成21年度白河総合支援学校卒業生進路状況)

ア. 目的

- (1) 産業総合科生徒全員の企業就職を目指し、学校と保護者が協働して、雇用促進を目指した白河総合支援学校の取組を企業に伝えるための「啓発活動」を実践する。
- (2) 会社訪問を通して、知的障害のある人の雇用に係る企業の考えや方針等を知る。

イ. 実施日 平成22年 7月23日(金)

ウ. 当日の日程

10:00	参加者(教員・保護者)集合 挨拶 学校長・PTA会長 企業の立場からの講話(白河総合支援学校運営協議会評議員、 株式会社 聖護院八ツ橋総本店 取締役 鈴鹿 可奈子氏) 取組についてのオリエンテーション(進路指導主事・キャリア支援部長)
	①当日の日程についての連絡 ②会社訪問の組み合わせの紹介 ③会社訪問時に活用する啓発グッズ(リーフレット・パンフレット)の紹介 ④企業情報の記録用紙の記載についての説明 ⑤会社訪問時の心得・マナー等についての説明 ⑥会社訪問時の挨拶・名刺交換の演習
11:00	教師, 保護者による打ち合わせ
11:30	学校出発(適宜) 会社訪問
16:00	学校集合

エ. 実施方法

- (1) 教員と保護者がペアを組んで会社を訪問する。それぞれのペアには、「求人票」と「地図」を事前に配布し、「求人票」の会社や店を中心に職場開拓をする。
- (2) 会社訪問時の役割分担については、原則として、教師が総務担当者との面談、保護者が面談内容の記録を担当する。
- (3) 16:00学校に集合をし、各ペア(保護者)から職場開拓状況を報告する。

オ. 参加者 教員: 39名, 保護者: 33名, 計: 72名

カ. 開拓状況

	訪問数	雇用の可能性有	体験実習可	後日連絡	雇用・体験実習不可
求人票	74	5	15	43	14
飛び込み	7	0	2	2	3
合計	81	5	17	45	17

「後日連絡」について・・・
「担当者不在のため伝えておく」などの返事であったところ。PTA職場開拓後、担当教員で訪問中であり、実習可能数は若干増える。

平成22年度『PTA職場開拓』の取組を終えて（保護者の感想より）

3年 情報印刷

今年も白河のPTA職場開拓に参加させていただいて、本格的な夏が来た気持ちになりました。1年、2年、3年と毎年参加させていただいて、いよいよ今回が最後になりましたが、今回はホテル関係を回らせていただいたので、皆さん丁寧に対応して下さい有難かったです。今すぐ結果は出ないと思いますが、将来、少しでも白河の生徒たちの実習への道が開かれればうれしいです。

2年 農園芸

企業は、障害者雇用に関して、思っていたより意識されていると感じました。しかし、現実には、雇う側にもいろいろと苦労があるという話を聞きました。やはり、企業に白河のことを、もっと知っていただく機会が必要だと思いました。

1年 地域コミュニケーション

1社1社をアポなしでお話をさせていただくことの難しさを改めて感じました。企業の方の求められていることなどの細かいお話を聞かせていただき、貴重な情報をお聞きすることができました。不景気の中、高卒で就職を目指すことの難しさも、参加させていただき感じました。ありがとうございました。

1年 食品加工

訪問先の企業の方が思っていた以上に、熱心に話を聞いて下さって嬉しかったです。「私も人の子の親ですから」という言葉が印象的でした。暑い中、先生方の協力をいただき、良い職場開拓だったと思います。ありがとうございました。

平成22年度市民啓発の取組

1 障害者就職面接会

期 日 平成22年9月27日（月） ・ 平成23年2月 9日（水）
集合場所 京都テルサ
内 容 企業セミナーにおける障害者雇用及び実習の啓発

2 京都市PTAフェスティバル

期 日 平成22年12月11日（土）
集合場所 国立京都国際会館イベントホール 支援学校作業製品販売コーナー
内 容 啓発パネルの展示及び啓発物品（葉書）の配布

3 小さな巨匠展

期 日 平成23年1月27日（木）～1月30日（日）
場 所 京都市美術館別館
内 容 啓発パネルの展示及び啓発物品（葉書）の配布
(自由に持って行っていただく)

[議 事]

第17回「障害のある市民の雇用フォーラム」

実施要項

「第17回障害のある市民の雇用フォーラム」の実施要項（案）

『巣立ちのネットWORK』事務局長 森脇 勤
事務局担当 石上智賀子

≪ 目的 ≫

- (1) 京都市立総合支援学校及び京都教育大学附属特別支援学校の卒業生を、継続雇用する企業に感謝の意を表すとともに、継続勤務している卒業生を表彰し、今後の更なる活躍を期する場とする。
- (2) 企業に職業的自立を願う総合支援学校生徒や保護者の思いを伝え、総合育成支援教育や総合支援学校が取り組んでいる職業教育の内容や実践及び総合支援学校生徒について理解を深める場とする。
- (3) 企業に、障害のある市民に関する認識を深めていただき、「総合支援学校生徒の進路開拓を目指す『巣立ちのネットWORK』」の活動について知っていただき、企業における体験実習の場及び雇用を働きかける場とする。
- (4) 障害のある人の雇用に関する様々な支援（学校や相談機関による支援、ジョブコーチ制度、助成金制度、報奨金制度、トライアル雇用など）について理解を深める場とする。

≪ 日時 ≫

平成22年11月10日（水） 13:30～16:30

≪ 会場 ≫

京都市総合教育センター

〒600-8216 京都市下京区河原町通仏光寺西入

075-371-2340

≪ 内容 ≫

- 1 「勤続5年表彰状・感謝状」の贈呈式
- 2 行政における障害者の就労に向けた取組の現状
- 3 京都市の支援学校による「企業就職に向けた取組」の紹介
- 4 分科会の提案内容の紹介
- 5 企業：「障害のある方の採用と企業内啓発について」事例発表
行政：「障害者就労に向けて企業と行政が連携した取組について」事例発表
学校：「職業学科の学校紹介と就労体験報告について」卒業生と在校生からの発表

< 補足 >

- 1については、昨年度と同様に実施します。今年度の表彰者は、卒業生が13名、事業所が13社です。
- 2については、行政における障害者就労に向けた取組の現況を、京都市保健福祉局障害保健福祉課 課長の居内氏より報告して頂きます。

3については、京都市立呉竹総合支援学校進路指導主事が、総合支援学校生徒の就職（会社に入社）に至るまでの取組について発表します。

4については、第1分科会として、デュアルシステム推進ネットワーク参加企業から、障害のある方の採用と企業内での啓発について、株式会社 島津製作所 人事部グローバル人事課 担当課長 佐藤文彦氏から報告していただきます。また、巢立ちのネットワーク事務局長 白河総合支援学校 森脇 勤校長と、ディスカッションの時間を持ちます。

第2分科会では、企業と雇用支援機関が連携した障害のある方の就労支援について、企業からは山中産業株式会社 執行役員尾崎 秀一氏と本社工場長 長沼 智也氏、行政からは、京都障害者職業センター 上席カウンセラー 堀 正志氏に報告していただきます。また、行政の支援制度について、京都府高齢・障害者雇用支援協会 相談支援部長 森本 憲一氏から紹介していただきます。

第3分科会では、企業就労について、京都老人福祉協会 京都老人ホーム勤務の京都教育大学附属特別支援学校卒業生から、職業学科の授業や実習の取組みについて、鳴滝総合支援学校と白河総合支援学校の在校生から発表いたします。

そして、それぞれの発表を受けて、参加企業と知的障害を有する方の企業就職につながるための意見交換をしたいと思います。

☆「タイムスケジュール」及び「発表内容」については、3ページをご覧ください。

《今年度の「雇用フォーラム」の特色》

- (1) 雇用フォーラムを「デュアルシステム推進ネットワーク」と関連づけて、広く企業の参加を促す機会とする。
- (2) 京都市立総合支援学校の生徒が、企業の方に対してパフォーマンスできる場を設定する。
 - ・「受付」や「座席への案内」等の役割担当
 - ・職業学科から専門教科の学習内容や産業現場等での職場体験実習についての発表
- (3) 障害者雇用を積極的に進めておられる企業から、障害者雇用に係る取り組みについて参加企業に対して事例を発表するとともに、行政との連携をすすめることにより障害者雇用に結びついた事例についても紹介する。
- (4) 「雇用フォーラム」に参加される企業の方々の興味・関心に応じるために、企業・行政・学校と3つの分科会を設け、希望の分科会に参加していただく。また、各分科会では自由に意見交換できる時間を十分に確保する。

当日の日程（会場設営・準備から閉会まで）

13:00~13:30	受 付
13:30~13:40	開会挨拶（10分） ・『巣立ちのネット WORK』代表（鈴鹿 且久氏） ・市長挨拶（副市長） ・京都市教育委員会
13:40~14:10	勤続5年表彰状・感謝状の贈呈式
14:10~14:50	全体会（40分） ・行政における障害者就労にむけた取組の現状：京都市障害者保健福祉局 ・京都市立総合支援学校の進路の取組について：京都市総合支援学校 ・分科会での基調提案の紹介 ①企業での障害者雇用について事例紹介 ②雇用支援機関から障害者雇用に向けた取組みについて事例紹介 ③職業学科の取組みについて
14:50	全体会終了の挨拶 移動・休憩
15:00~16:30	分科会（90分） 第1分科会「デュアル推進ネットワークの取組みから」 （企業：株式会社 島津製作所） 第2分科会「企業と連携した就労支援施策について」 （企業：山中産業株式会社 雇用支援機関：京都府高齢・障害者雇用支援協会 京都障害者職業センター） 第3分科会「就労に向けて学習中の在校生と就労している卒業生から」 （学校：京都教育大学附属特別支援学校卒業生 鳴滝総合支援学校・白河総合支援学校の在校生）
16:30	分科会ごとに閉会